

社会福祉・心理学と良心

— コンパッションを手がかりとして —

人は一人では生きることにはできません。他者から助けってもらったり、他者を助けたりする互恵的な人間関係の基礎にはコンパッション（共感）があります。しかし同時に、閉じられた社会集団における共感が、他の集団に対する排他性や暴力に転化することもあります。本シンポジウムでは、社会福祉と心理学の視点から（経済学・生物学の視点も加えて）「良心」の隣接概念として重要なコンパッションに光を当て、現代社会の課題を共に考えていきます。

入場無料・事前申込不要

● 日時：2019年 **5**月**20**日（月）16:40 — 18:40

● 場所：同志社大学 今出川キャンパス 同志社礼拝堂

● 講演：

木原活信（同志社大学 社会学部 教授）

武藤 崇（同志社大学 心理学部 教授）

司会：小原克博（同志社大学 神学部 教授、
良心学研究センター長）

コメンテーター：

八木 匡（同志社大学 経済学部 教授）

元山 純（同志社大学大学院 脳科学研究科 教授）



■ 問い合わせ 同志社大学 良心学研究センター

CONSCIENCE

E-mail: rc-csc@mail.doshisha.ac.jp <http://ryoshin.doshisha.ac.jp>

良心を世界に—良心を覚醒させる知の連携と知の実践 良心学研究センターは、現代世界における「良心」を考察し、その応用可能性・実践可能性を探求することを通じて、学際的な研究領域として「良心学」を構築し、さらにその成果を国内外に発信し、新たな学術コミュニティを形成することを目的としています。